

# News Letter

2022年  
12月

中国四国農政局  
香川県拠点

## 色鮮やかな金時にんじん 最盛期

艶のある鮮やかな赤色で細長くまっすぐ伸び、肉質が柔らかく強い甘みが特徴の金時にんじん。生産量全国1位を誇る香川県では、収穫の最盛期を迎えています。

あん餅雑煮やおせち料理の煮しめだけではなく、和洋ともに多く用いられ、西洋にんじんと比べてにんじん臭さも少ないことからサラダやジュースなどの生食、彩りの良さから炒め物や煮物、甘みを生かしたデザートへの利用など様々な料理に適しています。

また、坂出市の地元の祭りで振る舞われる「天狗うどん」の具材としても欠かせない存在です。

金時にんじんの赤色は、トマトやスイカの色素と同じリコピンであり、βカロテンに比べて抗酸化作用が2倍以上あります。リコピンの抗酸化作用は生活習慣病に対する予防効果があることが確認されているほか、ビタミンAやリノレン酸、食物繊維など現代人に欠かせない栄養素も豊富に含み機能性にも優れていることから、健康志向の方に人気です。



収穫作業の様子

そんな讃岐が誇る冬の味覚は12月が旬。中讃農業女子ネットワーク、通称「ぼやっとガールズ」で活躍されている坂出市の大西泰加さん宅のほ場でも金時にんじんの収穫が最盛期で、収穫、調整、出荷作業が毎日続いています。今年の品質について大西さんは、「長さ、重さともに良好で、太いものが多い」と話していました。



出荷された色鮮やかな金時にんじん

JA坂出園芸センター集荷場担当者の福家さんに今年の集荷状況を伺ったところ、「例年より2L、3Lサイズのものも多く、集荷量も増えているように感じる。計画している集荷見込み以上の出荷量が期待できる」と話していました。

集荷された金時にんじんは、地元香川県で1割程度、6～7割が関西方面へ出荷され、年末からお正月にかけての日本の食卓に彩りを添えます。



12月は金時にんじんの集荷や出荷が最盛期

## 香川の農業女子グループ紹介② ～ みとよ green ふぁ～む ～

みとよ green ふぁ～むは、「おいしい、たのしい、うれしい、心を込めた野菜・果物を届けたい」という思いを持った西讃地域の女性農業者が集まってできた組織です。結成は2014年7月で、今年で9年目を迎え、現在は9名のメンバーで活動しています。

これまでは、県内外の他の農業女子グループとの交流、農業現場の視察、マルシェでの農産物の販売、商談会への参加やメンバーでアイデアを出し合っただけの新商品開発等の活動を行っており、女性の視点で農業を見直しながら、活動を通じて地域農業のPRに努めています。今年度は、三豊市の小学校での食育活動にも取り組む予定で、更に活動の幅を広げることとしています。

みとよ green ふぁ～むの魅力・目標について、会長の西谷八重さんは、「メンバーが集まると農業のことだけでなく、地域のことや色々な情報が飛び交う女子会のような和気あいあいとしたグループ。メンバーが家事や子育てといった同じ経験をしていることからお互いの相談に乗ったり、サポートできることが魅力の一つ。活動を通じて、メンバーがお互いに能力を向上させることを目指している。現在、メンバー募集中であり、特に若い世代は大歓迎。ぜひ多くの人に参加して欲しい」と笑顔で話していました。



みとよ green ふぁ～むのみなさん  
「メンバー募集中です！！」



研修会で活動内容を紹介



商談会に参加※



農産物直売所での販売コーナー※

※写真提供：西讃農業改良普及センター

## 高病原性鳥インフルエンザ及び豚熱等の監視体制の強化について

令和4年10月28日に岡山県内の養鶏場において、今シーズン国内で初めて、過去最も早い時期での高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されて以降、香川県内でも11月1日、11月22日、11月23日、そして12月11日と、2つの市の養鶏場において計4事例の疑似患畜が確認され、まん延を防止するための防疫措置が行われました。国内でも相次いで発生しており、本病に対する厳重な警戒が必要です。

また、中国四国地域においては、豚熱に感染した野生イノシシの発見事例が拡大しており、飼養豚への豚熱感染リスクが高まっています。

このような状況ですので飼養者の皆様におかれましては、飼養衛生管理基準の遵守をお願いします。万が一、飼養する家さん及び豚に異常を発見した場合には、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡してください。

・詳しくは、こちら(鳥インフルエンザに関する情報)

<https://www.maff.go.jp/chushi/anzen/inf/index.html>

(豚熱(CSF)に関する情報)

[https://www.maff.go.jp/chushi/anzen/kobetsu/butanetsu\\_jouhou.html](https://www.maff.go.jp/chushi/anzen/kobetsu/butanetsu_jouhou.html)

編集：中国四国農政局 香川県拠点

〒769-0019 高松市サンポート3番33号

TEL (087)883-6500(内線3513) FAX(087)883-6504 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>